



特集 平成29年度事業報告・監査報告



さくら学園25周年
地域、家族、利用者の方と
皆でお祝いしました

トーク

石橋湛山氏に学ぶ

6月に某大学の経営学部学生に「福祉が国を支える時代」というテーマで講演する機会がありました。福祉の意味や憲法での位置付け、社会福祉法人についての説明後、法人の実践を話しました。福祉は今後の日本を左右する課題だと思うので、3K(きつい、汚い、危険)ではなく、4K(期待、希望、感動で国を支える)だ、と私なりに一所懸命話しました。

事前にその大学について調べると、第16代学長に石橋湛山氏の名がありました。お名前は知っていたものの、人となりは知らないもので調べてみました。昭和27年に学長に就任、昭和31年12月から3か月間は我が国の総理大臣でした。小日本主義を唱え、福祉国家と世界平和を国の目標に据えた人で、国内遊説中、病に倒れ辞任しました。新聞記者時代の石橋氏は、植民地戦争を繰り返す大日本主義を批判し、言論弾圧の中にあっても、一貫して平和主義を主張し、戦争反対を唱えました。当時、石橋氏の声にも見向きもしないばかりか、命さえも危ない状況だったようです。総理大臣の石橋氏が唱えた福祉国家、世界平和の施策は理想や空論ではなく、確かな理論に裏付けられたもので、後の政治家が、その理論の緻密さ、正確さに驚嘆したと聞いています。

国の未来のために命の危険をも顧みず主張し続けた信念と行動力に感動しました。石橋氏が求めたものは、今の日本でも尚、求められる内容だと思えます。若い人達に福祉を考えてもらうために「福祉が国を支える時代」という大きなテーマにしましたが、私自身が学び続けるなければいけないと大いに考えさせられました。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

平成29年度 社会福祉法人武蔵野会 事業報告・監査報告

運営全般の報告

福祉を取り巻く現状への対応

29年度は、第4期中期計画の最終年度であり、改正福祉法の完全施行の年度であった。改正の対応では、内部統制の強化として、法人の意志決定機関を評議員会とし、執行機関を理事会とした。6月の新評議員会では、改正法下での理事の再選と理事長再選が決定した。理事の中から本部長、本部長と運営委員の中から3人が執行理事となり、新しい法の下での法人運営体制が整った。執行理事はコンプライアンス、規程の整備、防災・人材育成、資金計画をそれぞれ担当し、本部長が統括した。

改正福祉法で30億円以上の収入のある法人は、会計監査法人を選定し、予算から決算までの一連の流れの監査を受けなくてはならないため、法人でも監査を受けた。会計監査人による各

施設への往査、法人での監査により、会計処理や内部統制について、無事に監査を終えることができたが、今後も、より良い体制を整備していく必要性がみられた。

地域公益活動は、既にこれまでの中期計画で示し実施してきた。中小企業家同友会の多様性委員会に所属し、障害者の就労の場の選択の幅が広がるように継続した。各事業所では、子ども食堂、高齢者のサロン、安否確認のための高齢者宅の訪問、近隣中学校など教育との連携、地域商店街との連携等々、地域共生社会に向けた取り組みが進んだ。各事業所の取り組み内容を、東京都社会福祉協議会の研修や日本福祉大学の提携法人が全国から集まるサミットのシンポジウムや分科会で報告した。

少年院や刑務所などの矯正施設からの退所者については、入所施設やグループホームで継続して受け入れたが、1名は他の施設に移った。法人として、今

後の受け入れを見据えて、矯正施設との連携を強化した。発達障害者の裁判支援、東京都及び周辺地域の関係法人や矯正施設職員、弁護士、教員、新聞記者などで構成する「生きにくさを抱えた人たちの支援者等のネットワーク」の活動、多摩地区での触法障害者等の地域支援力強化委員会の活動を継続した。

地域貢献として、研修に職員を出しにくい小規模の施設のために、法人の職員が講師となった映像をリアルタイムで施設に配信するサポーターカレッジに協力し、来年度はその研修映像を法人の新人研修や中途採用者研修にも活用出来るように、各施設の映像環境を整える。研修計画は中堅職員で組織した研修チームが作成した研修体系を次年度の計画に加えた。

理事会 評議員会 運営会議

法人会議の実施状況

29年度の理事会は第273回から279回まで7回実施した。評議員会は第17回、18回と2回実施した。法人運営会議は計画通りに、毎月第2木曜日に行い年間12回実施した。業務執行会議は毎月

「建替えの資金計画」を執行理事に割り当てた。

新規事業の建設と建替えのための資金計画

新規事業に伴う施設の建設計画については入札が終了し、工事の工程に伴う資金計画をたてた。練馬福祉園の建替え計画は、今年度は、十分な検討体制が整わなかったため、次年度に持ち越した。

防災関係

防災担当の執行理事が中心となり、安否確認システムを使用して本部と一部の入所施設間で、現実に即した被災時の安否確認などの通報訓練を実施した。また、BCPにつながる各施設の日常の防災訓練の状況を調査した。日本福祉大学と提携している法人間で協定を結んでいる防災ネットワークを推進する研修は、天童厚生会で行われ、本部長、担当理事、担当施設長が参加。研修内容を施設長会で報告し共有した。

むさしの武蔵野

地域移行問題

障害児入所施設の18歳以上の利用者の地域移行について、18歳を過ぎても退所させられないよう設けられた「みなし規定」の期限が平成33年3月末まで延長されました。強度行動障害者等の支援の提供先（移行先）が不足しているというのが理由です。日本知的障害者福祉協会の「29年度障害児入所施設の移行状況と今後の運営体制に対する調査（全国）」では、18歳以上の利用者が879人（全体4,843人）いるという結果でした。問題は、平成30年度の退所予定数が793人であるのに、移行先が決定しているのは101人（127%）で8割以上の方の移行先が決まっていないことです。

同協会が毎年行っている「29年度全国知的障害児者施設・事業実態調査」では、重複障害の方が全体の31%を占めており、さらに行動上の困難さ（強いこだわり、自傷、他傷、多動など）を抱えている方がほとんどであることが示されました。職員の配置基準は職員1人に児童4人

人材育成採用 福利厚生

理念研修は、法人研修計画に継続して位置付け、各地区、各施設、法人を単位に、支援介護の基本ブック、職員毎に作成したマイ支援ブックを活用して実施した。

次期3年間で運営委員や施設長の定年退職に備え、係長、主任を中心に人材育成方法や研修体制を確立させるために、産能率大学コンサルティングを依頼し、若い職員を中心にプロジェクトチームを立ち上げ3年間でまとめ上げた。

全施設の役割、施設長に対し、理事長面接を実施し、それぞれの状況の把握と対応に努めた。28年度から義務化されたストレスチェックは、14施設で行った。

福利厚生では、365日、24時間受付の健康ダイヤル、武蔵野生活倶楽部による余暇活用プログラムを継続し、子育て支援のPTの検討結果を規程に盛り込んだ。

採用に関しては、全国的に人材確保が課題となっている。東

京都や社協が行う採用イベントに参加しても効果が薄いため、法人独自の採用イベントの実施、採用パンフレットの作成などで対応した。

利用者の高齢化、重度化、重複化への対応

各地区の実践事例報告会では、高齢化による重度化、重複化への実践が多く、特に入所施設では、生活環境、食事、運動、介助方法など多面的にわたった高齢化対策が報告された。

各施設では、支援、介助において、歩行介助や機能訓練、嚥下や経管栄養などの食に関わる専門知識とスキルに関して、研修実施や必要な資格の取得を進めている。強度行動障害、発達障害については施設での研修実施や研修参加を増やした。

プロジェクトの実施状況

運営委員で行ってきた6つのプロジェクトは、執行理事の担当する4つのプロジェクトに変更した。「規程全般の見直し」コ

ですが、実際は職員1人に対し、児童3人以下の施設が136施設（85%）となっています。施設の自助努力により手厚い職員配置をしているのです。支援困難性に対応できる職員配置基準の抜本的な見直しが必要です。

東京都の「障害者・障害児地域生活支援3か年プラン」（平成27年度～平成29年度）では、グループホーム（以下GH）2,000人増を目標とし、28年度末では1,153人増でした。八王子市の場合、目標が150人増、28年度末では116人増でした。そのほとんどは家庭からの移行で、入所施設からは3年間で13人とどまっています。GHで移行予定者を受入れるには、入所施設基準以上の職員配置が必要で、さらに児童の移行先確保は児入所施設だけの努力ではなく、児相や福祉事務所等管轄行政機関主導での移行システムづくりを急がなければならぬのです。

法人ではこの3年間に4つのGH開設を予定しており、八王子地区では地区目標の一つにGHの拡充を挙げています。早急着実な実行をめざしたいと思います。

すぎな愛育園

施設長 福元 興

法人単位資金収支計算書

(自)平成29年 4月 1日 (至)平成30年 3月31日

第一号第一様式 (第十七条第四項関係) (単位:円)

Table with columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, and other activities.

法人単位貸借対照表

平成30年 3月31日現在

第三号第一様式 (第二十七条第四項関係) (単位:円)

Table with columns: 資産の部, 負債の部, 純資産の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, and equity components.

武蔵野会

セミナー

6月23日、毎年恒例の法人セミナーを霞が関イイノホールで開催しました。当セミナーは開始当初より、障害者の人権、権利擁護をテーマにし、様々な問題提起をしてきました。これまで「地域福祉と障害者の権利擁護(H26)」「生きにくさを抱えた人たちにどう向き合うか(H27)」といったテーマで開催してきました。本年度は「共生



基調講演の原田正樹氏



山本たつ子氏

社会を実現するための福祉教育とは、誰もが支え合う地域を目指して」をテーマに、第一部の基調講演を日本福祉大学学長補佐原田正樹氏、第二部のシンポジウムでは基調講演を行った原田氏をコーディネーターに、天竜厚生会理事長山本たつ子氏、めだかすとりいむ理事長山下敏夫氏、名古屋市港区社会福祉協議会次長野川すみれ氏、彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク(あつたかウエルねっと) 吉田より子氏に登壇いただき、それぞれ実践でのお話を伺い、これから求められる福祉教育の在り方を学ぶ機会と



山下敏夫氏

なりました。

原田氏は基調講演で、「ふくし」とは、「ふだんのくらしのしあわせ」であり、全ての人が地域や暮らし、生きがいをもとに作って高め合うことができる「地域共生社会」を実現するために、地域のあらゆる人々が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことができる仕組みを構築することが大切だと丁寧に分かり易く話していただきました。



野川すみれ氏



吉田より子氏



世田谷福祉作業所

毎年、お中元シーズンには個人や企業、そして常連様から初めてご注文くださった方まで、焼き菓子ギフトセットのご注文をたくさんいただきました。少し気が早いですが、お歳暮に当施設のお菓子を検討されている方、ご注文はお早めに...

練馬福祉園

6月20日、ホームページをリニューアルしました！スマホにも対応したデザインや、新たに撮った利用者・職員の写真から、練馬福祉園の魅力が発信されています。ぜひご覧ください。
<http://www.nerifuku.com/>

八王子生活実習所

グループ毎の懇談会を実施しました。この日はご家族をお招きし、普段の活動の様子をご報告するだけでなく、一緒に活動することで、楽しいひと時をお過ごしいただきました。

小平福祉園

6月9日、近隣中学校の運動会に参加し、玉入れを行ってきました。温かい歓声を頂きながら行うことが出来ました。地域との繋がりの中でいろいろなイベントに誘って頂くことが多い

平成30年度 新任職員研修

武蔵野会研修プロジェクト

3月20～21日にかけて平成30年度の新任職員研修を高尾の森わくわくビレッジで実施しました。初日は、法人の沿革と理念、マナーや虐待防止を学び、夕食後はキャンドルの灯りで入職前の不安な気持ちを吐露し、チームビルディングゲームで盛り上がりました。

2日目は山田本部長から法人の目指す方向性が示され、自分たちが目指す職員像についてKJ法で整理し発表を行いました。午後はこれからの想いを1



緊張感が漂う新任研修

人ずつスピーチし、参加者全員が高橋理事長から辞令の交付を受けました。

これから実際の現場で利用者との向き合い、多くの困難や課題を感じることを思いますが、半年後には、共に学びスタートを切った仲間と、現場での実践を通じた学びを持ち寄り、伊豆大島でのフォロワーアップ研修に元気で臨んで欲しいものです。

文京福祉センター江戸川橋で

セカンド・ステージ サポートゼミ リアン文京

は今年度から「セカンド・ステージ・サポートゼミ」を区の委託で開始します。

50歳以上のミドル・シニアの区民を対象として、区の情報誌「セカンドサポートナビ」の編集・発行を区民自身の手で行う講座です。全14回で、企画から発行までの過程を学びます。

完成した紙面を基に、ホームページやメールマガジンなどを活用した情報発信を行ない、最終的に講座で学んだ受講生が中心となって、当事者による情報発信拠点「アクションサポートセンター」の設立を目指しています。



新たなステージの入り口に立つ

現在、雑誌編集者などが講師となり、写真の撮り方や取材スキルなどを学んでおり、今年度中には情報誌の発行とホームページ開設の予定です。

現在我が国は「我がこと丸ごと地域共生社会」の実現を目指した構想を打ち出していますが、深刻な少子高齢社会の進展に伴い地域社会の労働力不足や地域福祉支援力の低下が懸念される中、子育てを終えた方や退職されたミドル・シニアの方の活躍の場として地域の拠点になることを目指しています。

なり、利用者にとっても職員にとっても良い経験になるので、これからも積極的に参加していきたいと思っています。

駒沢生活実習所

実習所の屋上にはプールがあります。深さ95cmで大きさは縦4.5m、幅3.5mと小ぶりですが浄水装置もついた本格的なプールで、夏場の2か月間は存分に水遊びができます。地域のわんぱくグループも毎年楽しみにしているプールです。

九品仏生活実習所

6月に一泊旅行で群馬へ行きました。渋川にある遊園地では、アトラクションを楽しみ、夜はホテルのカラオケで盛り上がりました。翌日は、埼玉にある「サイボクハム」へ寄り美味しい食事と景色を満喫しました。

希望の里

希望の里は野菜を育て出荷しています。畑は今、一面緑豊かな状況です。ピーマン、なす、いんげん、きゅうり等々、夏野菜の实りの時期を迎えました。ジャガイモも丸々と大きく成長しています。



お知らせコーナー

7月

28日(土) 共催夏祭り (八王子地区)

8月

1日(水) お花茶屋ふるさと祭り (葛飾地区)

3日(金)

2日(木) まる見え☆せたふく(世田谷福祉作業所)

3日(金)

25日(土) サマーフェスタ (武蔵野児童学園)

9月

1日(土) 夕涼み会 (すぎな愛育園・身障センター共催)

7日(金) 宿泊旅行 (東堀切くすのき園)

8日(土)

28日(金) 宿泊旅行 (東堀切くすのき園)

29日(土) ぼんぼんぼん祭り(九品仏生活実習所)

30日(日) わたぼうし祭 (八王子生活実習所)



社会福祉法人 武蔵野会
平成30年度 永年勤続者表彰式

永年勤続表彰



6月21日に武蔵野会の永年勤続者を表彰する式をパレスホテル立川にて開催しました。理事長から全員に表彰状が授与され、練馬福祉園の福田信行職員が謝辞を述べました。

平成30年度永年勤続表彰者

勤続30年

齋藤 初枝 (武蔵野児童学園)

福田 信行 (練馬福祉園)

浦川 明 (練馬福祉園)

加茂 靖史 (リアン文京)

山田 貴美 (武蔵野会本部)

中山 政夫 (武蔵野会本部)

勤続20年

菊池 愛 (すぎな愛育園)

石堂 幸 (練馬福祉園)

勤続10年

江原 則子 (練馬福祉園)

小山田知代 (練馬福祉園)

佐藤 功守 (練馬福祉園)

板谷 丹 (第2大島恵みの園)

三浦 誠一 (九品仏生活実習所)

小林 和紀 (九品仏生活実習所)

荒井 充一 (リアン文京)

稲垣 順子 (武蔵野児童学園)

吉田 史絵 (すぎな愛育園)

秋山 陽子 (練馬福祉園)

池田 浩一 (練馬福祉園)

嵯峨 博之 (練馬福祉園)

浪速 和子 (練馬福祉園)

和仁 哲也 (練馬福祉園)

芹沢 照之 (大島恵みの園)

重田 恭秀 (第2大島恵みの園)

町田 雅彦 (第2大島恵みの園)

高橋 勝 (白鳥福祉館)

下山田 隼 (西水元あやめ園)

成田 真澄 (西水元あやめ園)

職員募集のご案内

平成31年度新卒採用者向けの職員募集を行います。また、既卒の方は随時採用試験を行っています。ご相談ください。詳しくは、HPをご覧ください。

<http://www.musashinokai.jp>

書類送付先及び問い合わせ先

社会福祉法人 武蔵野会
〒193-0931東京都八王子市台町1-19-3
電話：042-623-8509
FAX：042-623-8539
採用担当：山田 貴美

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設と8つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931
東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772

【お詫び】前号169号1面の写真を「北町福祉作業所」とご案内しましたが、正しくは「光が丘福祉園」の誤りでした。関係各位に大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

新保智恵美 (東堀切くすのき園)
黒田 芳和 (東堀切くすのき園)
小出 優子 (九品仏生活実習所)
中村 勘太 (世田谷福祉作業所)
小田真悠子 (鳥山福祉作業所)
関根 麻美 (鳥山福祉作業所)
高井 彩 (鳥山福祉作業所)
石川 啓 (大泉町福祉園)
酒井 康弘 (大泉町福祉園)
松尾 一恵 (大泉町福祉園)
小野亜希奈 (小平福祉園)
佐藤恵理子 (小平福祉園)
能村 里美 (小平福祉園)
松田 慎吾 (えみふる)
岩本 恵美 (光が丘福祉園)
梶田 耕平 (リアン文京)
松原 幸子 (リアン文京)